

事業報告

一一二

一、組織部

組織運動の實界に就いて本年も亦華々しい報告の出来ない事は遺憾である。全國的な反動諸勢力の蠢動が、現實の力以上に強く九州の労働大衆のイデオロギーに反映したこと、労働運動が最悪の受難期に當面してゐたこと及び九州地方は特に労働運動が困難なる特殊の情勢下にあることなどを本年度の組織運動障害の要因として擧げねばならぬ。即ち、九州地方の資本家の大部分は頗る無理解にして、舊態依然、十年一日の如く暴力と金力を乱用して、労働組合が組織されかねると直ちに組合幹部を裁殺し、組合に解散を命じ労働組合の破壊に極力狂奔してゐる。八幡製鐵所本所の如きは労働者が眞に産業の強力なる協力者であることを理解し健全なる労働組合の組織に好意的態度を擧げてゐるにも關わらず、同一組合下の製鐵所二瀬炭坑に日本石炭坑夫組合の支部が組織されんとするや、製鐵所二瀬出張所當局は懲罰色を失して組合幹部の解雇、組合解散命令の布告の禁制を以て健闘なる労働組合主義運動の擡頭を壓殺した事實なぞは、九州に於ける組織運動の困難性を實証する一例である。

十萬人突破運動の繼續は九州聯合會の第五回年次大會の決議であつた。聯合會は大會後直ちに十萬人突破運動に關する各組合代表の協議會を召集して具体的の方針に就き協議し、それに要する費用負擔も夫々決定して實踐運動に移つたが、九州の組織運動に就いて、より根本的な問題は總同盟綱領の改正であり、九州地方の組織運動方針の轉換であつた。聯合會は組織運動に関する加盟組合代表者の座談會を開催して、産業を中心とした協力主義の總同盟精神に則り、徒に労資間の感情を激發させて職場大衆を搾取せしめ労働組合を廻避せしめる如き方針を廢棄して、健闘なる労働組合主義を労資双方に理解せしめ、産業協力主義を理解せしめ、資本家に了解せしめて組織運動を最も効果的に展開する方針を原則的採用することに決定した。この原則は別項報告の如く、全國に魁けて開催された前回二回に亘る「資本家階級へ總同盟精神の普及並健闘なる労働組合主義の徹底」を極めて好望なる業蹟を收めつゝある。

二、教育部

これを要するに本年度の組織運動は總同盟綱領の改正に伴ひ、從來の方針を矯正して、九州に於ける組織運動上の新しい針路を開き、來るべき年の實踐運動上に於ける有効なる實界を収める基礎工作の一年であつたと言ふことが出来る。基礎工作は完成した。この基礎の上に立つて別表に掲示した加盟組合の陣容表を昨年度報告書の加盟組合一覽表と比較して發信した明年度の飛躍に期待と希望を掲げて本年度の貢献報告とする。

九州地方に完全なる労働階級の教育機關の存在してゐないのは極めて遺憾であるが戰線の多端なる儘に、九州聯合會の教育運動は實踐問題の正確なる認識の把握を中心にして加盟組合に夫々茶話會、座談會、講演會を開催せしめ、労資本主義の動向並にその客觀的情勢を完全に理解せしめてその理解と認識を直ちに階級的な決意に統一し、實踐運動の分野に動員させ得る方針を持つて進んだ。

更らに總同盟本部機關紙の配布、労働經濟誌の購讀並に聯合會の重要な運動に關する講演會、座談會の記録をプリントして組合員に頒布し、無產階級的啓蒙運動の健全なる軌條の上に全組合員を集結させることに努めた。殊に青年組合員の教育には最も力を注ぎ、或は前線同志隊を通じては加盟各組合の前衛隊、青年部を事毎に刺戟、鞭撻して各種集會を加盟組合の夫々の青年部間に緊密に連絡せしめ頻々に集會を開催せしめて討論に座談に、聯合會本部より會長又は主事を派して無產階級意識の昇揚並に健全なる労働組合主義の徹底に資し、時事問題の正確なる解説の理解は青年組合員を運動の最前線に動員し、労働組合運動の戰線に於ける青年の任務を完全に遂行する原動力たらしめてゐる。

聯合會の外部未組織労働者の教育宣傳には總同盟精神の徹底を圖り、從來の無產黨型の難解なる字句を亂用して、徒に資本家を罵倒し、職場大衆に却つて恐怖を喚かせるがときを排し、健闘なる労働組合主義の精神を勞資双方に納得せしめて、職場大衆に労働組合に對する信頼と關心を持たせる方針を以て進むことにしてゐる。

三、事業部

一、消費組合の部

イ、白木崎購買組合報告